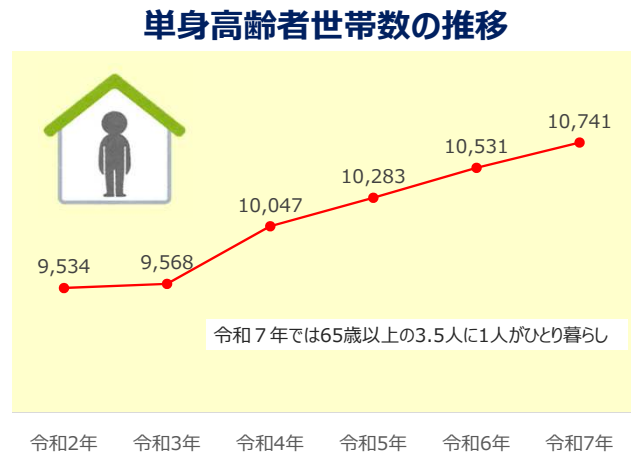
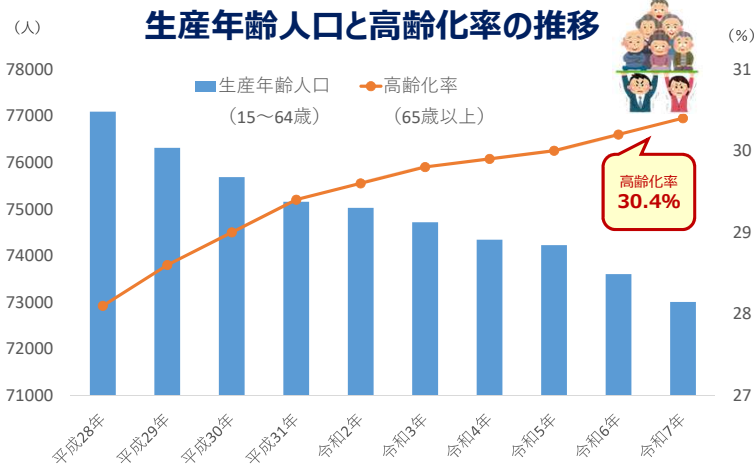


～人口・世帯・健康診査・介護・医療等のデータより～ 瀬戸市における高齢者の現状と健康課題

人口・世帯のデータより

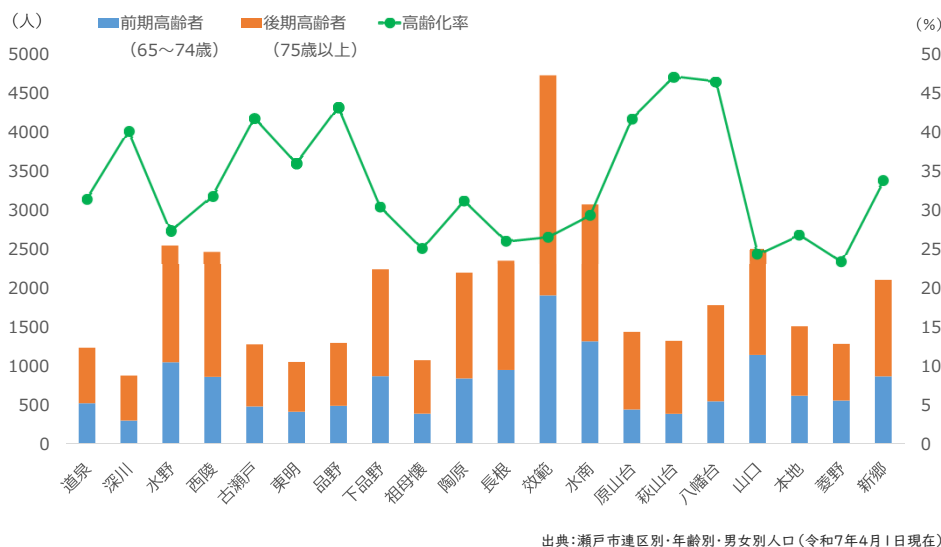
5年比較	瀬戸市総人口	前期高齢者人口（65～74歳）	後期高齢者人口（75歳以上）
令和2年	129,410人	18,302人	19,993人
令和7年	125,786人	14,811人	23,421人

出典：瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口（各年4月1日現在）

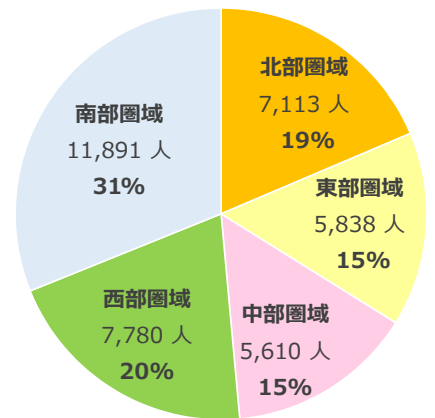


- 75歳以上の後期高齢者は高齢者の半数以上の61.3%を占めており、令和2年から1.6倍増えています。
- 支える世代の生産年齢人口は約2千人減少し、一方で高齢化率は30%を超え、市民の3.3人に1人が高齢者です。
- 単身高齢者の世帯数は5年間でおよそ1,200世帯増加しています。高齢者のひとり暮らしでは孤独感や孤立による精神的疾病やフレイルの進行、病気や怪我の早期発見の遅れ、認知症など健康状態の悪化が心配されます。

連区別・高齢者人口と高齢化率



日常生活圏域ごとの高齢者人口



圏域	連区
北部	道泉、深川、水野、西陵
東部	古瀬戸、東明、品野、下品野
中部	祖母懐、陶原、長根
西部	効範、水南
南部	原山台、萩山台、八幡台、山口、本地、菱野、新郷

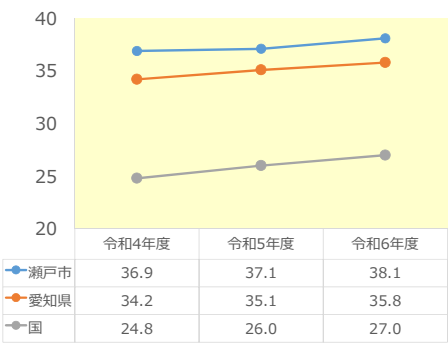
【日常生活圏域】
介護保険法第117条2項により設定
高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるように地理的条件や人口、交通事情などを考慮して設定する区域

- 高齢者人口が最も多い連区は効範連区の4,711人で、最も少ない深川連区871人の5.4倍です。
- 連区において高齢化率が最も高いのは萩山台連区の47.0%で、住民の半数近くが高齢者となっています。
- 日常生活圏域では「南部圏域」の高齢者数が最も多く、全体の31%を占めています。

後期高齢者の健診・医療・介護データより

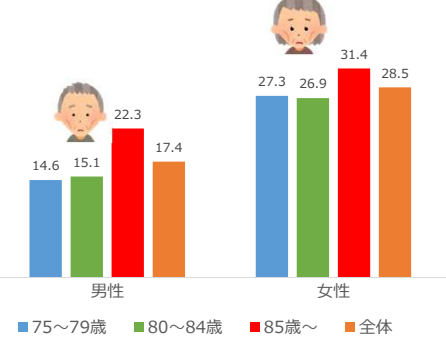
後期高齢者医療制度健康診査

◆健診受診率（％）



出典：KDB地域の全体像の把握 令和4～6年度

◆BMI≤20 低栄養傾向の割合（％）



出典：KDB介入支援対象者絞込み（栄養・重症化予防等） 令和6年度

◆質問票リスクあり回答の割合（％）75～84歳 男女

質問項目	瀬戸市	愛知県	国
健康状態	10.27	10.39	9.22
心の健康状態	9.20	9.70	8.10
食習慣	4.22	4.93	5.54
口腔機能	39.44	37.83	36.12
体重変化	11.07	11.40	11.21
運動・転倒	69.93	69.54	69.32
認知機能	28.74	26.94	25.80
社会参加	7.80	8.47	8.76
ソーシャルサポート	4.38	4.46	4.62

出典：KDB介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等） 令和6年度

- 健診の受診率は愛知県や国よりも高く、直近3年間ではわずかに増加しています。
- 低栄養傾向の割合（BMI≤20）は、全体では女性が男性の1.6倍、年齢では男女どちらも85歳以上で高くなっています。
- 健診時の質問票では、口腔機能の「お茶や汁物でおせる」「固いものが食べにくい」、認知機能の「なんとも同じことを聞く」「今日の日付がわからない」の項目で「はい」と回答をされた方の割合が愛知県や国より高くなっています。

医療費

◆医療費全体に占める入院＋外来医療費の割合（％）

1位	2位	3位	4位	5位	6位
慢性腎臓病 (透析あり)	不整脈	糖尿病	骨折	関節疾患	骨粗しょう症
6.5	4.9	4.3	4.1	3.7	3.6

出典：KDB医療費分析（2）大、中、細小分類 令和6年度

◆健診・医療のクロス分析

前年度 健診受診	入院 1人あたり医療費	外来 1人あたり医療費
あり	274,049円	386,604円
なし	520,194円	474,995円

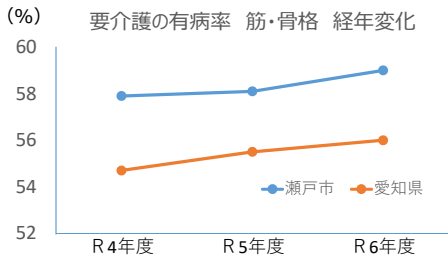
出典：KDB健康スコアリング（医療） 令和6年度

- 医療費では「慢性腎臓病(透析あり)」の割合が1位です。透析の治療費は1人当たり年間およそ480万円と高額で、要因となる糖尿病や高血圧症などの重症化予防が望まれますが、「高血圧症未治療等によるコントロール不良対象者割合」※は愛知県と比べ1.41倍と高い傾向にあります。（※収縮期血圧160以上または拡張期血圧100以上、抽出年度に高血圧薬剤処方歴なし）
- 前年度に健診を受けていない人は、受けている人よりも当該年度の入院および外来の医療費がともに高くなっています。

要介護の疾病別有病率と認定状況

◆要介護の有病率（％）

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
心臓病	筋・骨格	高血圧症	脂質異常症	糖尿病	精神（認知症：再掲）	脳疾患	アルツハイマー病	がん
63.5	59.0	56.0	36.0	30.1	36.3 (23.5)	22.6	16.1	13.3



出典：KDB地域の全体像の把握 令和4～6年度

◆要介護認定率（％）

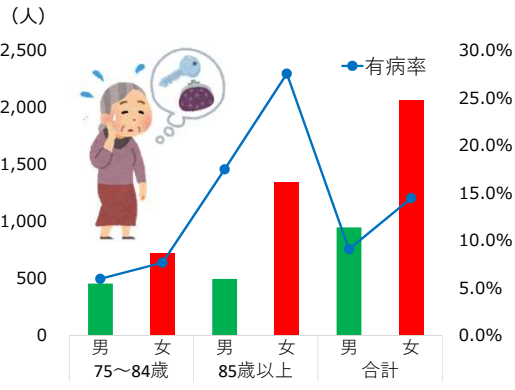
	瀬戸市	愛知県	国
1号認定率	17.8	18.8	20.1

◆平均自立期間（要介護2以上の認定を受けるまでの期間）

男性（歳）			女性（歳）		
瀬戸市	愛知県	国	瀬戸市	愛知県	国
81.2	80.0	79.7	85.4	84.4	84.0

出典：KDB地域の全体像の把握 令和6年度

認知症の診断者数と有病率



出典：KDB介入支援対象者の絞込み（栄養・重症化予防等） 令和6年度

- 要介護の有病率では2位の骨折、骨粗しょう症などの筋骨格系疾患の割合が愛知県より多く、また増加傾向にあります。
- 認知症はアルツハイマー病と合わせると39.6%で要介護の有病率4位の疾患となります。
- 認知症の後期高齢者数は男性より女性に多く、中でも85歳以上の女性の有病率は27.6%で75～84歳の女性の3.6倍です。

瀬戸市における高齢者の健康課題

瀬戸市の統計データより、支える世代の減少、単身高齢者や後期高齢者が速やかに増加している現状が伺えます。スピード感を持ち、「在宅で自立した生活をおくることができる高齢者」を増やすためにも、後期高齢者の健診、医療、介護のデータから見える、口腔機能低下、認知機能低下、女性の低栄養（適正体重の維持）、糖尿病や高血圧症の重症化予防、骨折や骨粗しょう症予防への取り組みに重点を置き、地域の特徴を踏まえて市民や医療専門職、関係機関とともに進める必要があります。